

5.脳梗塞の患者数

脳梗塞の「患者数」「平均在院日数」「平均年齢」「転院率」を集計しました。

定義

- ◇集計期間に退院した症例
- ◇最も医療資源を投入した傷病名の ICD-10 コードが「脳梗塞 I63\$」に該当する症例
- ◇転院率 他の診療所または病院に転院した患者数／全退院数

症例数	平均在院日数	平均年齢	転院率
91	29.6	75.0	40.7%

解説

患者さんの病状、年齢、社会的な背景等に合わせて、様々な治療を行っております。脳梗塞は一刻も早く適切に治療すれば後遺症なく回復することがあり、当院では2台のMRI装置が常時稼働しているため迅速で正確な画像診断が可能です。超急性期脳梗塞の患者さんにはt-PAによる血栓溶解療法や、カテーテルによる血栓回収術を行っております。また、慢性期の患者さんに対しても必要に応じて血行再建術を行っております。

入院中は脳神経外科と脳神経内科（脳卒中科）の医師が協力しながら、入院早期から充実したリハビリテーションの実施や薬剤師による服薬管理、栄養サポートチームによる回診、退院支援室による退院サポートなど、多職種によるチーム医療で早期退院に向けた取り組みを行っております。また、継続的なリハビリテーションが必要な患者さんは、リハビリテーション専門病院への転院も調整しております。

令和2年度は、脳神経外科医が減員（2名→1名）になった影響で症例数が減りましたが、令和3年7月から脳神経外科医が2名（いずれも脳卒中専門医）に戻り、脳神経内科医とともに3人体制で救急患者さんに対応しており、症例数は年々増えてきています。